

## 第 2 回明日香村小委員会における各委員からの指摘事項等

(資料 7 「明日香村小委員会報告 (案)」に沿った整理)

## 1. 明日香村の将来像に関すること

## 1) 明日香村の価値の捉え方に関すること

- ①明日香村の価値を様々な観点から絶えず検証する機会を持ち、常に高い次元で国際的な観点から捉えていくことが大切。
- ②考古や歴史の専門家だけで論理的に価値を詰めていくと、万葉集の世界がなかなか出てこないが、上手に取り込まないといけない。万葉集の歌碑に対してユネスコ委員が興味を示されるが、詩を詠むことが心の支えとなり、それをずっと残していることは日本の特徴であり、感性的なものを風土と結びつけ、具体的な場所とつなぎ合わせることで、いろいろなことが説明できるのではないか。
- ③万葉集が世界的にみて素晴らしいのは、身分や性別に関係なく誰もが詩を詠めたという点にある。この時代に女性が文学的・芸術的なセンスを持って身分の高い男性に対する詩を表現していることは、世界では稀なことであるし、日本人が根本に持っている民主主義的な意識が表されているのではないか。
- ④外から入ってきた文字を自分たちの言葉に置き換えた工夫を含めて文化水準の高さや平等意識の高さ、それを今に残し続けているすごさを考えると、日本人として胸を張れる文化資産であるため、もっと強調すべきではないか。

## 2) 明日香村の歴史的風土保存のための枠組みに関すること

- ①これまでの土地利用規制に対する支援という考え方ではなく、規制があったからこそ価値を生み、それが実感できる時代に来ているという認識を持つべき。
- ②欧米で買取請求権がなくても規制を当たり前に行うように、地域の価値が高まることをありがたいと思える方向に持っていくべきではないか。
- ③明日香村は隣の高取町と比べて実勢地価が相当高いが、買入制度が地価を下支えしている一方で、土地の需要が大きいという一面もある。
- ④土地利用規制については、大字景観計画や都市計画法第 34 条 11 号などで地区に合わせた調整を行うことで、価値を高めることにつながるのではないか。
- ⑤昨今の住宅事情を背景に、土地利用規制による建築費用の負担増が村外への転出に影響しているという現実を忘れてはならない。

## 3) 地域住民及び国民の理解協力・積極的な関与に関すること

- ①村民は自分の集落に対して根強いアイデンティティを持っているため、大字ごとの世界を創ることから積み重ねることで賛同を得られる。
- ②明日香村民のこれまでの取組みや、それに対する課題を基にした上で、行政からの手助けをするという内容でなければ、村民のやる気が感じられないものになってしまう。
- ③交付金の 4 分の 1 は大字の活動を支えているが、これまで維持されてきた地域の活動は明日香法をはじめとする仕組みの成果である。

## 2. 将来的な取組みの基本的方向性に関すること

### 1) 地域産業振興による地域活力の向上に関すること

- ①万葉集の本質的な価値を多くの人に知ってもらうために、学校教育で扱うだけでなく、海外にも訳してアピールできるといい。
- ②万葉集に入っている二上山や飛鳥川などの地名をもとに、今の風景と結びつけて物語を感じることで理解を深め、歌碑を巡るツアーなど観光を通じて文化を再興できるといい。
- ③万葉集に関しては、犬養万葉記念館や万葉文化館、歌碑などがあるが、分かりづらい面がある。万葉集とゆかりのある地域との連携や、「私からあなたへの万葉集」という現代語で普通の生活のありがたさを表現する取組みも主張していく必要がある。
- ④今の観光のあり方とは、素晴らしい環境の中で自分が主役になり演じる行為にある。そのためには素晴らしい環境づくりと多様な魅力が必要であるが、明日香村の集落には山の中から平野まであり、とても魅力がある。

### 2) 歴史的風土を支える担い手の育成と確保に関すること

- ①飛鳥に都があったという価値を認識し、農業や観光だけではないライフスタイルを上手く表現し、選ばれた人に住んでもらうという観点で住みたくなるビジョンを戦略的につくるのが、安売りしない明日香として大事ではないか。
- ②改修された京町家が高価格でも若い人から人気があるように、明日香村の新しいライフスタイルに合った住宅のあり方や景観のあり方について検討することが必要ではないか。
- ③村民が住み続けたい村と、外の人に移り住みたい村は観点が違うため、それぞれの考えの整合を取り、しっかりと対策を講じることが必要である。
- ④集落の人間関係が濃密なために苦勞を感じて出ていく人が実際にいる。転出を止め、30～40代で帰ってくる仕組みを教育や医療、雇用の場などで作っていけるよう、定住や地域活性に関する情報提供や支援が必要である。
- ⑤明日香村を守ってきた人たちや担い手が減っており、このままでは継続することが危ぶまれる。観光まちづくりなどを進めながら、担い手を確保していくことが大事である。
- ⑥子育てにこれほど適した環境は他にはないため、移住や定住につなげるためにも教育に力を入れることが必要である。
- ⑦明日香村で就農を希望する人は多く、順番待ちの状態であると思われるが、家を借りても農地が借りられない、またその逆の状況も多々あるため、暮らしやすくすることが必要である。